

ひがしいず 議会だより

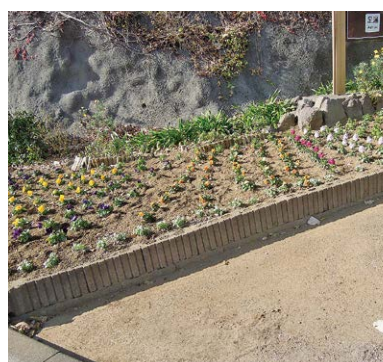
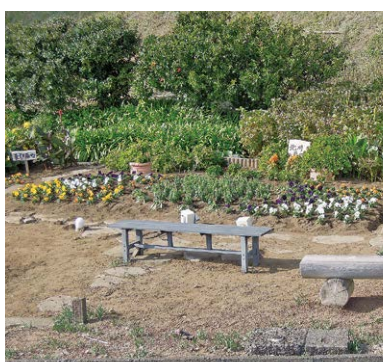
2026 No.322

1 月号

本年もよろしくお願いいたします

— 議員一同 —

笑顔と花であふれる街づくり！
東伊豆町花の会
P12にて紹介



補正予算を修正して可決 2～3

一般質問 4～6

学校統合に関するアンケート 8～9

かがやくまちのひと 12

議会HP



12月
定例会

定例会の
あらまし

一般会計補正予算ほかを可決

一般会計補正予算を修正して可決

令和7年第4回定例会は12月3日、4日の2日間の修正案が提出され可決された。また、特別会計補正予算で原案どおり可決しました。

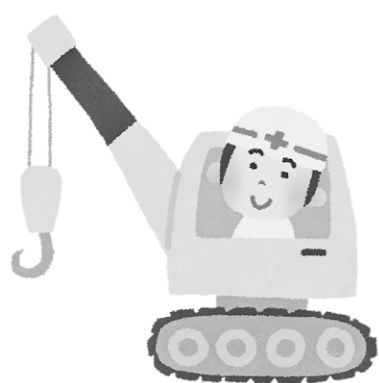
日程で開催し、一般会計補正予算（第4号）は議会審議を通じて、算3件、変更契約2件、条例制定1件が提出され、審議の結果すべ

Pickup ① プレミアム商品券発行 843万円



物価高騰に対する国の方針がある程度定まってきたため、例年行っているプレミアム商品券事業の予算を計上します。

Pickup ② 稲取漁港整備負担金 1,200万円



県営の補助事業である田町堤防、離岸堤地震対策工事を前倒しで実施することになります。県工事6,000万円の2割が町の負担となります。

Pickup ③ バス衝突センサー設置

幼稚園バス・スクールバスの安全対策として衝突防止センサーを設置します。

Pickup ④ バイオトイレの設置場所変更

設置を予定していた花はなばあ〜くから熱川小学校グラウンド入口に場所を変更します。

Pickup ⑤ 一般会計(第4号)補正予算修正

496万円減額

雛のつるし飾りリブランディング事業委託料	152万円	→ 0円
雛のつるし飾りリブランディング事業コーディネート業務委託	55万円	→ 0円
インバウンド等対策事業補助金(台湾での誘客セールス費)	289万円	→ 0円

減額修正する理由

減額する事業は、この時期に予算化することの説明が不十分であったこと、また、町長と担当課との意思疎通が図られていないように見受けられたこと等があった。

事業を実施しても継承され維持できるという点などについて対応が不十分であった。

今回の補正予算はそのまま議決するのではなく、十分な制度設計等が必要だと判断した。減額する事業については、必要性など精査すること。事業を実施したあとの体制を見据えて制度設計を見直すこと。

円滑な行政運営を決議

質疑において、町長と担当部署の間で議案に対する認識や考え方について十分な議論がなされていないのではないかと推測せざるを得ないようなケースが散見された為、新規政策に関わる案件に関して、下記の項目をこれまで以上に意識して臨んでいただくことを求める。



附帯決議書

1. 透明性を確保した行政運営に努めること
2. 公平性、中立性を確保し、町民に対して説明可能な行政判断を行うこと
3. 事業の計画段階から、費用対効果、実現可能性の検証を徹底すること
4. 事業の進捗状況や成果を定期的に公表し、見直しを行う体制を整えること



山田 直志 議員



Q ケアマネとの対話は

A 現場の声の重みを感じた

Q 懇談会の参加者等は、仕事による欠席があり参加者は9人、書面の意見提出が2人と計11人。懇談時間は80分だった。

A どんなことが話されたか。また町長の感想は。現場の生の声を政策に反映させることが現在の厳しい介護環境を打開する唯一の道だと考えている。ケアマネ・介護事業所・行政の意思疎通が



介護関係者のみなさん

Q 懇談会の参加者等は、仕事による欠席があり参加者は9人、書面の意見提出が2人と計11人。懇談時間は80分だった。

A どんなことが話されたか。また町長の感想は。現場の生の声を政策に反映させることが現在の厳しい介護環境を打開する唯一の道だと考えている。ケアマネ・介護事業所・行政の意思疎通が



須佐 衛 議員



Q 物価高騰の中、プレミアム率20%はいかなものか

A 将来負担も配慮し事業効果を最大化する必要がある

Q ふるさと抽選会の費用もここに含まれるが、補正予算が可決した場合、年末に間に合うのか。

A 物価高騰や困窮者支援の方法というのは、プレミアム商品券だけではなく、例えば学校の給食費無償化等、広範囲で考えながら、より適切な使い方についてタイミングと規模と効果を見て検討したい。



2万品目の食料品が値上がりし、生活費に重くのしかかっている

Q 町民目線から見ると、商品券はプレミアム率を高めることで購買意欲が高まる。これまで積み増した基金をここで使う必要があるのではないのか。

A 物価高騰や困窮者支援の方法というのは、プレミアム商品券だけではなく、例えば学校の給食費無償化等、広範囲で考えながら、より適切な使い方についてタイミングと規模と効果を見て検討したい。

Q 子育て支援の考えは

A 親子が安心して暮らせる町に積極的に取り組む



雨の日も安心して遊べる室内用遊具

Q 町内にある公園数は。児童に安全かつ健全な遊び場所を提供するための児童遊園が5か所、都市公園が2か所、その他にも親水公園や農村公園、また、ふれあいの森など公園的な機能を果たす場所もある。

A 公園の現状をどのように認識しているか。現状は遊具の老朽化が進んでおり、点検の際に危険と判定された遊具については撤去しているというこもあり、残念ながら遊具の数は減少傾向にあるので、しっかりと順次対応していきたい。

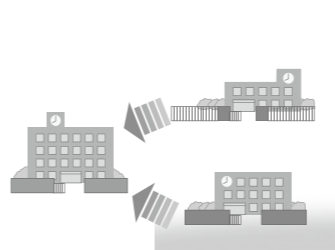


楠山 節雄 議員



Q 小中学校統合のスケジュールは

A スケジュールは次年度に



スピード感を持った対応を

Q 次期町長選挙への出馬の考えは。現時点では最終判断には至っていない。まずは任期中の施策を着実に進めることを優先し、町の現状や将来像、町民の声を踏まえて自身の進退を判断したい。結論は適切な時期に公表する。

A 町は熱川中を基軸とした統合方針に変更はなく、測量など準備作業を



笠井 政明 議員



第4回定例会の議案と各議員の賛否

○ 賛成 × 反対
※議長は採決に加わらない

議 案 名	採決結果	山田豪彦	鈴木伸和	楠山節雄	笠井政明	稲葉義仁	栗原京子	西塚孝男	須佐 衛	村木 脩	内山慎一	定居利子	山田直志
条 例 改 正													
議案第67号 電気自動車用急速充電器の設置及び管理に関する条例	可決（11：0）	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
契 約 変 更													
議案第68号 よりみち135改修工事請負契約の変更	可決（10：1）	○	○	○	○	○	－	○	○	×	○	○	○
議案第69号 財産取得に伴う変更契約	可決（11：0）	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
補 正 予 算													
議案第70号 令和7年度一般会計補正予算（第4号）	可決（11：0）	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
令和7年度一般会計補正予算（第4号）修正案 ※P3を参照	可決（11：0）	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
議案第71号 令和7年度国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	可決（11：0）	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
議案第72号 令和7年度介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決（11：0）	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
議案第73号 令和7年度水道事業会計補正予算（第3号）	可決（11：0）	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
議 員 発 議													
発議第2号 令和7年度一般会計補正予算（第4号）附帯決議	可決（11：0）	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
発議第3号 円滑な行政運営を図る決議について ※P3を参照	可決（11：0）	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○
陳 情 ・ 要 望 書													
陳情・要望書等の審査について	可決（11：0）	○	○	○	○	○	－	○	○	○	○	○	○

令和7年度一般会計補正予算（第4号）に対する附帯決議

1. プレミアム商品券発行事業委託料について

プレミアム商品券発行事業は、議会で再三協議してきたように、従前のような商工振興だけでなく、物価高から町民を支援する事業としての意味合いが強く打ち出されてきている。事業実施に当たっては、大型店の利用等を含めて柔軟な制度設計を心がけられたい。

2. 合同部活動ユニフォームについて

合同部活に限らず、今後ユニフォームを必要とすることがあると思われる。要綱整備の検討を含めて対応すること



附帯決議書はこちら

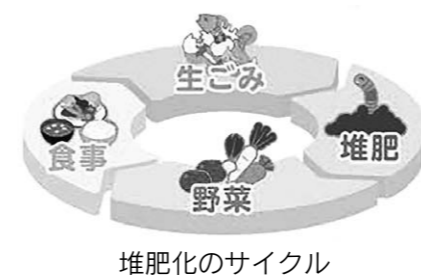
議会は国の物価高対策交付金に対し、町長に使い道への要望を行いました。

物価高騰・エネルギー高騰に対する迅速な対応を求める要望書

1. 子育て世帯の負担を軽減を図るため、学校給食費の無償化を継続すること。
2. 水道基本料金の減免措置の継続・拡大やLPガス・灯油使用世帯への給付等の支援策を講じること。
3. 中小事業者支援としてエネルギー価格の高騰分を補填するための事業規模に応じた補助金制度を創設し、電気・ガス・燃料費等の軽減を図ること。
4. 高齢者世帯に配慮した支援策を講じること。
5. プレミアム商品券については、消費支援につながるよう、さらに検討すること。

Q 中断中の生ごみ堆肥化事業の現場は

A 契約内容のあいまいさで業務が停滞中



Q 当初契約書の作成は誰の指示か。
A 初契約書の作成時に、その内容の精査と最終的な締結に係る判断は、組織の長であり、業務を執行する責任者である私が行った。
Q 契約書の修正案の作成状況と今後の予定は。
A 事業推進の中で顕在化した課題に対する町の考え方を整理し、新たな変更契約案を作成済み。

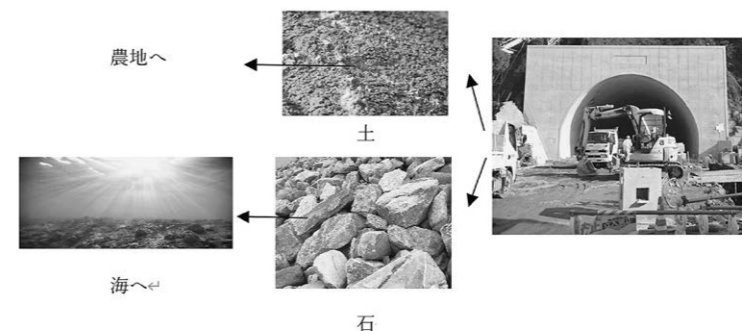
Q 修正案をもとに積算根拠の適正化・責任分担の明確化など必要な見直しについて早急に協議を進めていく。
Q 特名随意契約の相手事業者と町長の関係は。
A 地域の廃棄物の現状をよく知る方からの紹介。特別な利害はない。
Q 監査委員からの数多くの指摘に対して町長自らの責任をどう考えているか。
A 契約の最終責任者として極めて重く受け止め、町民の皆様、議会に対し深くお詫びする。
Q 次年度の当初予算編成にはどう対処するのか。
A 変更契約に関する協議を可能な限り早期に進め、その結果を踏まえた上で次年度当初予算へ反映できるよう努める。前年度同様の積算による予算計上を考えている。



Q トンネル工事の岩を活用し漁礁を造成しては

A 課題について関係者とよく協議し検討したい

Q 東伊豆町の沿岸における藻場の現状について町としてはどのように把握しているか。
A 黒潮の蛇行による海水温の上昇により藻が激減したと聞いているのと、海水温が上がったことで今までにいなかった魚が増えて海藻が食べられた事により減少したと聞いている。
Q 伊豆縦貫道のトンネル工事で出る山石を活用して漁礁を造成し、激減した藻場を回復させるための実証実験を行うべきと考えるがどうか。
A 地域の漁業関係者の同意が最優先であるが、施工側との利害関係が一致すれば不可能ではないのではないと考える。ただ下田土木事務所にお



ても前例がなく、石を入れた後の海の環境変化に不安があるため、漁協や下田土木とそのあたりをしっかりと協議して、可能であればすすめていきたい。

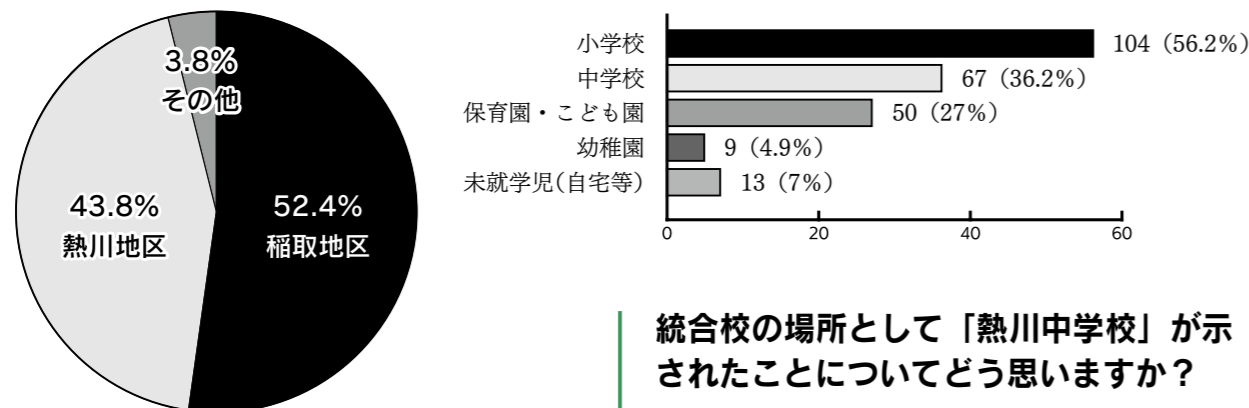


学校統合計画に関する保護者向けアンケートを実施

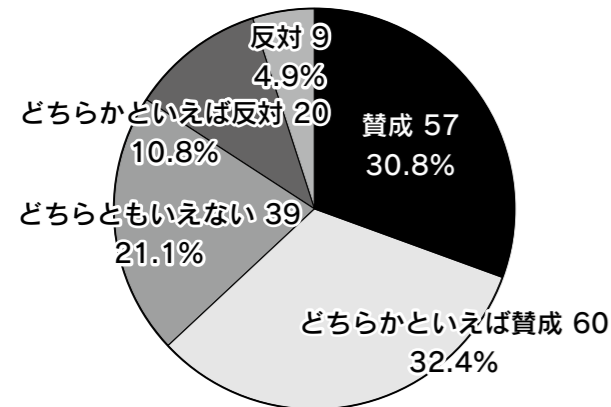
文教厚生常任委員会では、学校統合に関する陳情書、要望書校、中学校の保護者に向けて学校統合に関するwebアンケート回答総数185件、自由記述には多数のご意見をいただきあり

の調査を行う一環として、町内の幼児、保育園、幼稚園、小学を実施しました。がとうございました。

お住いの地区はどちらですか お子さんの在籍、在園状況（複数回答可）



4校統合についてどう思いますか



賛成、どちらかと言えば賛成（一部抜粋）

- ・少子化の進みが早いので、いずれ統合するのであれば、早い段階で4校統合の方が良い。
- ・子供の人数が減る中で、より多くの仲間と学び生活できる環境を与えたい。

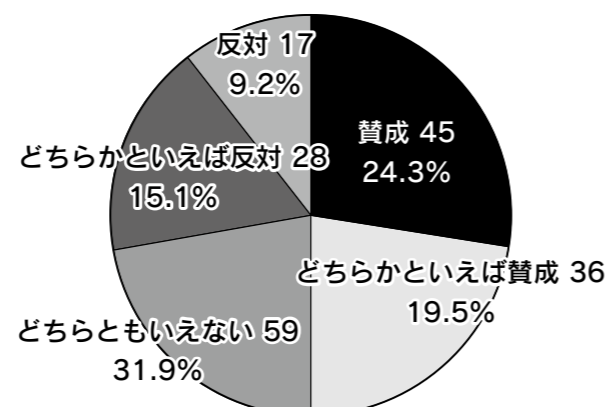
反対、どちらかと言えば反対（一部抜粋）

- ・通学が大変になるから
- ・中学校、小学校がそれぞれ統合するのは賛成だが、小中統合のメリットが分からない。



今回のアンケート結果はこちらから確認ができます。

統合校の場所として「熱川中学校」が示されたことについてどう思いますか？



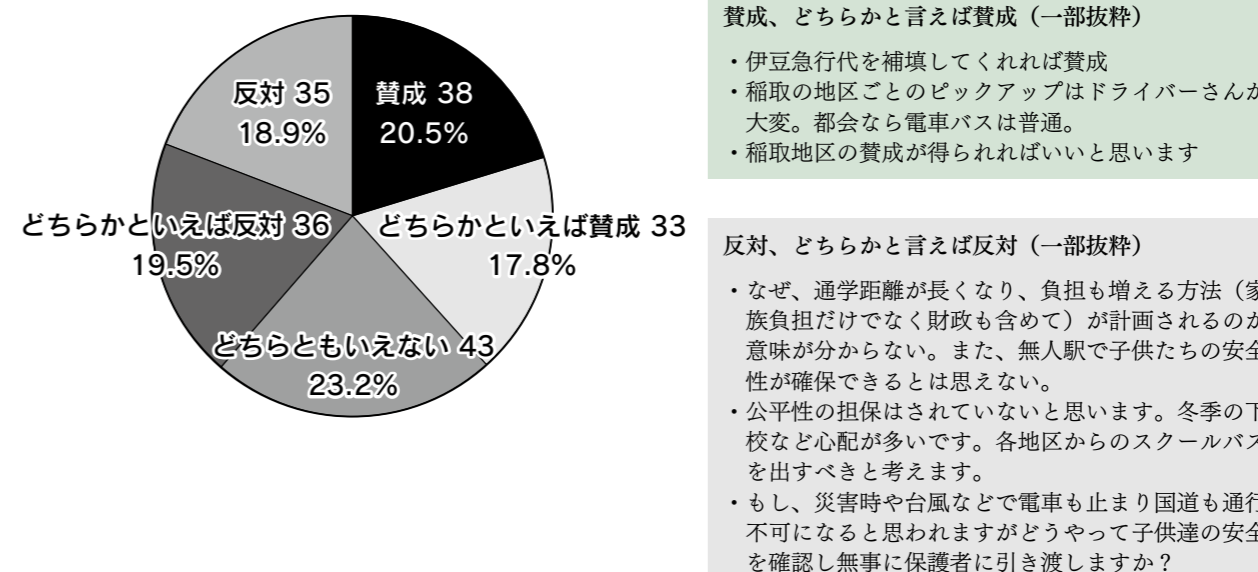
賛成、どちらかと言えば賛成（一部抜粋）

- ・場所的に、町の真ん中にあるし幼稚園や図書館も近い。町の文教地区として整備できれば良いのではないかな。
- ・稲取では大川や北川の子供が大変だと思う。
- ・稲取の小学校、中学校は道が狭くて、立地や環境を考えれば遠いですが、しかたがないと思います。子供の人数が減る中で、より多くの仲間と学び生活できる環境を与えたい。

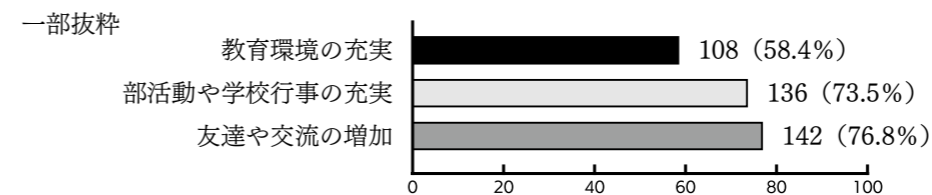
反対、どちらかと言えば反対（一部抜粋）

- ・通学を考えると心配です。
- ・中学校、小学校がそれぞれ統合するのは賛成だが、小中統合のメリットが分からない。
- ・安全面を考えたら立地的に熱川になるのもわかりますが、幼稚園も熱川になり、なんでも熱川になって何かあったときや参観日の保護者の移動距離が地味に負担かなと感じます。熱川地区はいいですが、稲取地区の方たちはそちらに合わせなくてはならないので。

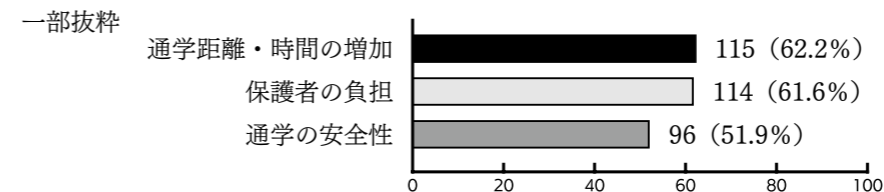
通学に関しては、伊豆急行を使用して片瀬白田駅からスクールバスにて送迎の計画が検討されていますが、この計画に対してどのように思いますか？



統合によって「よい」と思う点（複数回答可）



統合によって「不安」と思う点（複数回答可）



アンケート結果から、統合に賛成、どちらかといえば賛成が63%を超えており、どちらともいえないを含めると約80%の保護者は統合には前向きなことが伺えます。

また、統合した場合の候補地として熱川中学校が示されたことについても賛成、どちらかと言えば賛成44%で反対、どちらかと言えば反対の約24%を大きく上回っていました。ただし、現在示された通学方法に関しては反対や検討の意見が多く、安全な通学方法を望む声が多かったです。今後はこの意見を参考に町への提言や町民の方々にヒアリングなどを行って行く予定です。

25年間住み続けると家と土地がもらえる

文教厚生常任委員会は、茨城県の境町と守谷市で視察研修を行いました。

【茨城県境町 子育て支援に関する取り組み】
「25年間住み続けると家と土地がもらえる」
子育て支援日本一の町



報告書はコチラ

境町は給食費無料、小中高校入学時にお祝い金3万円、20歳までの医療費無料等を実施しています。文化村ニコニコパーク公園、S-WARK + KIDS（仕事と子育てができるスペース）、食育カフェ、小児科クリニックを誘致するなど子育て環境も充実しています。特筆されるのは小6で英検5級保有率75.5%、中3で英検3級保有率52.2%と全国平均の2倍に近い保有率。ALTを1校に平均3.7人配置。英検は試験料無料。ホノルルへ無料でホームステイ等を行っています。

【茨城県守谷市 先生の働き方改革で確かな学力を】

守谷市では、「わくわく子育て王国もりや」という取り組みを進めていました。市が働き方改革を掲げている理由は、先生が疲れていては良い授業はできないという考えで、6時間目のない週25コマ・毎日5時間の授業や理科、美術、音楽は専任教師が行う等の取り組みを進めています。

守谷式英語教育・グローバル教育

小中9年間の一貫した英語教育や複数のALT配置、英語フォーラム・キャンプ、英検検定費補助などで、中3で英検3級取得割合：55.5%・全国学習・学力状況調査、英語学力検査（H30年度）全国トップレベルの学力を獲得しています。



世界レベルのアーバンスポーツパーク



学校統合に関する陳情は不採択とするが、引き続き調査を実施

文教厚生常任委員会では、議会から付託された「東伊豆町小中学校及び県立稲取高校の統合に関する陳情書」及び340筆の署名が添付された「東伊豆町小中学校及び稲取高校の統合に関する嘆願書」の審査を行いました。

乳幼児や保育園・幼稚園、小・中学生の保護者向けのアンケート（P8, 9参照）を実施したところ、185人から意見をお寄せいただきました。内容としては、6割を超える保護者が統合に「賛成」、「どちらかと言えば賛成」を表明しており、この結果も踏まえ委員会で審議した結果、「統合計画」の中止などを求めた「陳情書」「嘆願書」は不採択としました。ただし、保護者からの声には、「遅い」「通学が不安」などの声が多数見受けられたことを重視して、委員会では「学校統合」について所管事務調査を行うこととしました。

令和7年12月4日			
東伊豆町議会 議長 栗原京子 様			
文教厚生常任委員会 委員長 西塚孝男			
陳情・要望書等審査報告書			
本委員会に付託された陳情・要望書を審査した結果、次のとおり決定したので、会議規則第94条第1項の規定により報告します。			
受付 番号	付託 年月日	件名	審査 結果
153	令和7年9月30日	東伊豆町小中学校及び稲取高校の統合に関する嘆願書	不採択
154	令和7年9月30日	東伊豆町小中学校及び県立稲取高校の統合に関する陳情書	不採択

災害発生から2年、本格的な復興はこれから

総務経済常任委員会では、立て続けに災害が発生した能登半島の被害・復興状況の視察に、石川県珠洲市や七尾市を訪問しました。ここでは珠洲市の被災状況と現地を訪れた感想を紹介します。



報告書はコチラ



写真① 被害の様子をそのまま残す港

【被災状況】

令和5年5月に珠洲市を震源とする震度6強の地震が発生し、局地激甚災害に指定されました。半年後の令和6年1月には能登半島地震が発生、家屋倒壊や津波、火災、地盤隆起など複数の災害が同時に生じました。さらに8ヶ月後、令和6年能登豪雨により大規模な被害が発生し、極めて異例の複合災害となりました。

【感想】

能登半島に入り観光地へ向かうのどかな車窓風景が、穴水IC付近から様相が一変しました。道路のいたるところで片側交互通行、往来する車両のほとんどが工事車両です。珠洲市内では傾いたままの電柱、通行止めになったままの橋、コンビニやドラッグストアのトイレは使えません。それでも復興に向けた活動は確実に進んでおり、今後は復興公営住宅の整備等が進められていくとのことです。



写真② 豪雨での土砂崩れも復旧途上

翌日は、能登豪雨の土砂災害現場の状況を確認、長橋漁港では港内の隆起状況を説明頂き、手つかずの現場と約2年間漁に出られない漁船を見て切なさや虚しさを一度に感じました。今回の視察では全てが他人事ではないと痛感するとともに、立地条件等も似通っている珠洲市での出来事を当町の災害対策に生かしていかなければならないと強く感じ、最後に「市長を先頭に前を向いて頑張ってください。」との職員の言葉が耳に残りました。

後継者育成や事業承継、町の将来について意見交換

総務経済常任委員会では、漁業・農業や町の産業に関わり、町の将来を担う若い世代の方々と意見交換会を開催しています。

参加していただいたのは「地域おこし協力隊」、「青壮年漁業従事者」、「商工会青年部」、「農業経営振興会」の方々です。本人の家族構成や事業の形態と経営状況、また町への提言や今後の計画等々多岐にわたり自由闊達な意見を伺いました。次の開催に向け「違う職種の方々と意見交換をしたい。」という皆さんからのご要望を受け、横に繋げた展開で意見交換ができるよう準備しています。



【開催日程】

10月2日(木) 10:30～ 地域おこし協力隊
16:00～ 青壮年漁業従事者
11月25日(火) 14:00～ 商工会青年部
16:00～ 農業経営振興会

かがやく まちのひと

Vol.24

今回は、平成3年に発足して今年で34年を迎えた花の会の皆さんの、北川地区での花壇整備や花植えの様子を取材し、あわせて花の会会長のお話をうかがってきました。



会長の山西秀次さん

—どんな団体ですか。

花の会は、花を愛し、花を通じて会員同士の親睦を深め、町の環境美化、景観美の向上を目指しているボランティア団体です。平成24年には10支部、会員300人を超えていました。令和7年9月現在では5支部、126人まで減少しています。

—北川支部の特徴は。

北川支部では地区をあげて老若男女で活動しています。区長さんをはじめ役員の皆さん、観光協会の皆さんも自ら会員となり、花壇の整備はもちろんだ道路周辺の草刈りを



北川支部

協力して行っています。今日は54人の会員のうち、25人が参加しました。



奈良本支部

—なぜそんなにがんばるんですか。

ここは北川の玄関口だから、いつもきれいにしておきたいと皆が思っているからですね。

夢は。

—会長が考えるこの先の夢は。

少子高齢化の波を受け、稲取地区に支部がなくなっただけは本当に寂しい事ですが、男性の方や若い方にも是非入会していただき、この町を花であふれる街にしたいです。



苗の仕分けも

ね。まずはこの町を訪れたらこの時期には、この花が咲き誇っているような花の選抜をする。次に町内の花壇めぐりをし、支部交流や色使い、デザイン等の技術向上に活かしていきたいと思っています。また、年に1回の先進地視察は貸切バス2台、約80人が参加する人気イベントですが、全額自己負担のため、町の補助が少しでもあるとありがたいですね。とにかく皆が一生懸命やってくれるからありがたい。町民の皆さんの入会をお待ちしています。

編集後記

半年にも及ぶ市政の混乱が続いたお隣伊東市。膨大に山積した課題の解決はきっと困難を極めるだろう。市役所職員の皆さんに激励と自愛を祈るばかりだ。

伊東市での一連の動きを通じて、超大な権限を持つ首長を選ぶ選挙の一票が持つ重要性を全国民があらためて認識したに違いない。

当町ももうすぐ町長選挙を迎える。伊東市での出来事を教訓に町のために誰を選ぶのか、未来を託すのにふさわしい候補に一票を投じてほしい。

(鈴木)

議会広報編集委員会

委員長	稲葉義仁
副委員長	笠井政明
委員	山田豪彦
委員	鈴木伸和
委員	栗原京子
委員	山田直志